

実装に向け、多客期の2019年12月1日～2020年3月10日(101日間)に実施

日本初の「観光型MaaS」・伊豆半島での実証実験 Phase2の詳細について

～Phase1の課題を踏まえ、操作性と商品性を大幅に改善、テクノロジーを活用した地域課題解決の取り組みも～

東急株式会社
東日本旅客鉄道株式会社
株式会社ジェイアール東日本企画

東急株式会社、東日本旅客鉄道株式会社、株式会社ジェイアール東日本企画は、伊豆半島にて本年4月から実施している、鉄道、バス、AI オンデマンド乗合交通、レンタカー、レンタサイクルといった交通機関を、スマートフォンで検索・予約・決済し、目的地までシームレスに移動できる2次交通統合型サービス「観光型MaaS」の実証実験(以下、本実証実験)の「Phase2」を、2019年12月1日から実施します。今般、詳細が決まりましたので、お知らせします。

本年4月1日～6月30日まで実施した「Phase1」では、専用MaaSアプリケーション「Izuko」が、当初想定を大幅に上回る23, 231ダウンロードを獲得するなど、好調に推移した半面、ダウンロードの手間を含めた操作性や、サービスエリアの限定性、商品の幅、運用面など、多くの課題が浮き彫りになりました。

これらを踏まえ、「Phase2」では、「Izuko」の基幹部分を、ダウンロードが不要なWebブラウザシステムに切り替え、操作性や運用性を大幅に改善させます。またJR伊東線(熱海駅～伊東駅)区間をはじめとするサービスエリア拡大や、デジタルチケットの商品メニュー拡大のほか、実装を見据え、伊豆の多客期(2～3月)にあわせて実施します。

さらに、本実証実験の定性目標に掲げた、オンデマンド乗合交通など新規施策を通じた地域課題解決の施策として、TV の操作だけで AI オンデマンド乗合交通が簡単に配車できる仕組みを導入し、より多くの方にご利用いただけるよう利用手段を充実させます。詳細は、以下および別添の通りです。

1. 期間 2019年12月1日～2020年3月10日(101日間)

2. Phase2の主なサービス内容

- (1) システム: Webブラウザを使用(別添1参照)
- (2) 対応言語: 日本語・英語に加え、繁体字を追加
- (3) デジタルチケット(別添2参照)

【デジタルフリーパス】(別添3参照)

フリーエリア(右図参照)に JR 伊東線(熱海駅～伊東駅)の区間が加わったほか、熱海市内のバス乗り放題チケットなど新たに4種類が加わり、計6種類を発売(Phase1では2種類)

【デジタルパス】(別添4参照)

「アカオハーブ & ローズガーデン」や「伊豆・三津シーパラダイス」など新施設などが加わった全12種類の観光施設入場券のデジタルパス(Phase1では7種類)のほか、下田市内で運行するAI オンデマンド乗合交通のチケットや伊豆各地で使える観光体験チケットを発売

- (4) AI オンデマンド乗合交通(下田市中心部。別添5参照)

運行範囲が大幅に拡大。観光施設、行政機関、病院、宿泊施設など11カ所が増え、27カ所の停留所で運用(Phase1では16カ所)。地元住民向けに、自宅のTVでの配車予約の仕組みを試行。

- (5) その他の機能充実

- ・経路検索機能の充実(鉄道、バスに加え、飛行機、船舶が検索対象に追加)
- ・予約機能の充実(レンタサイクル「伊豆ぼた」のサービスを、伊豆高原駅に加え伊豆急下田駅でも試行)

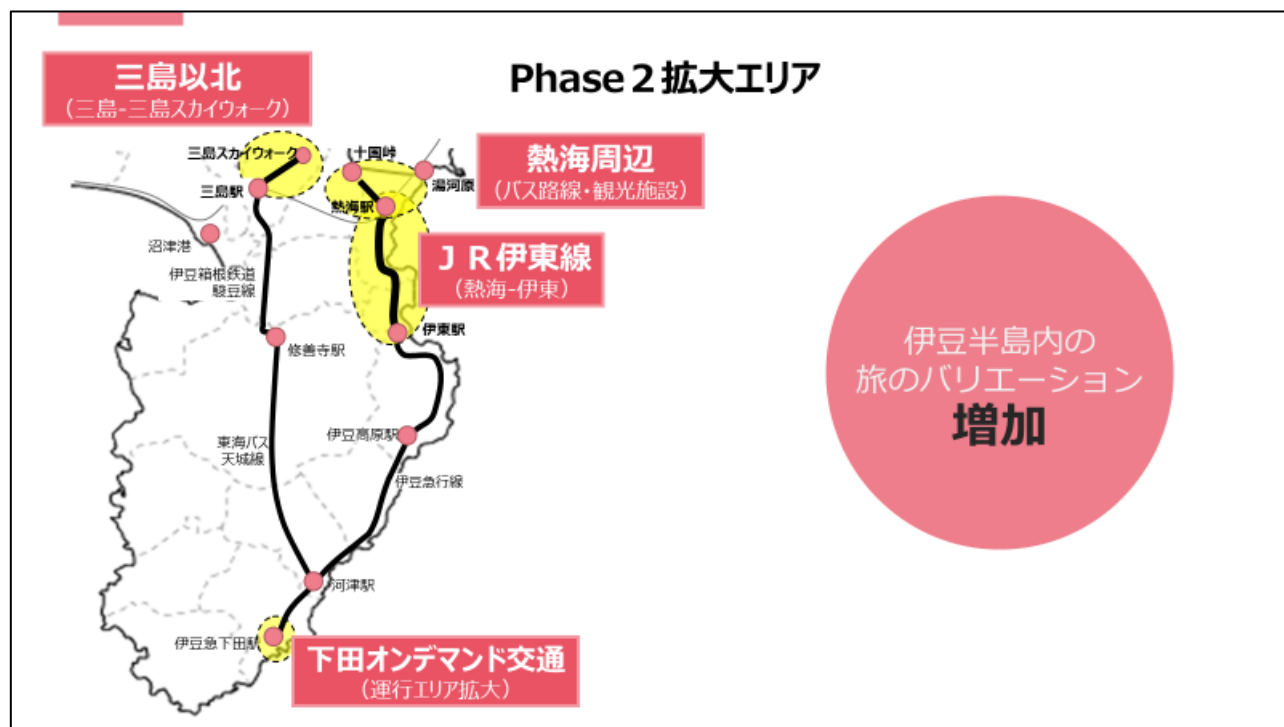
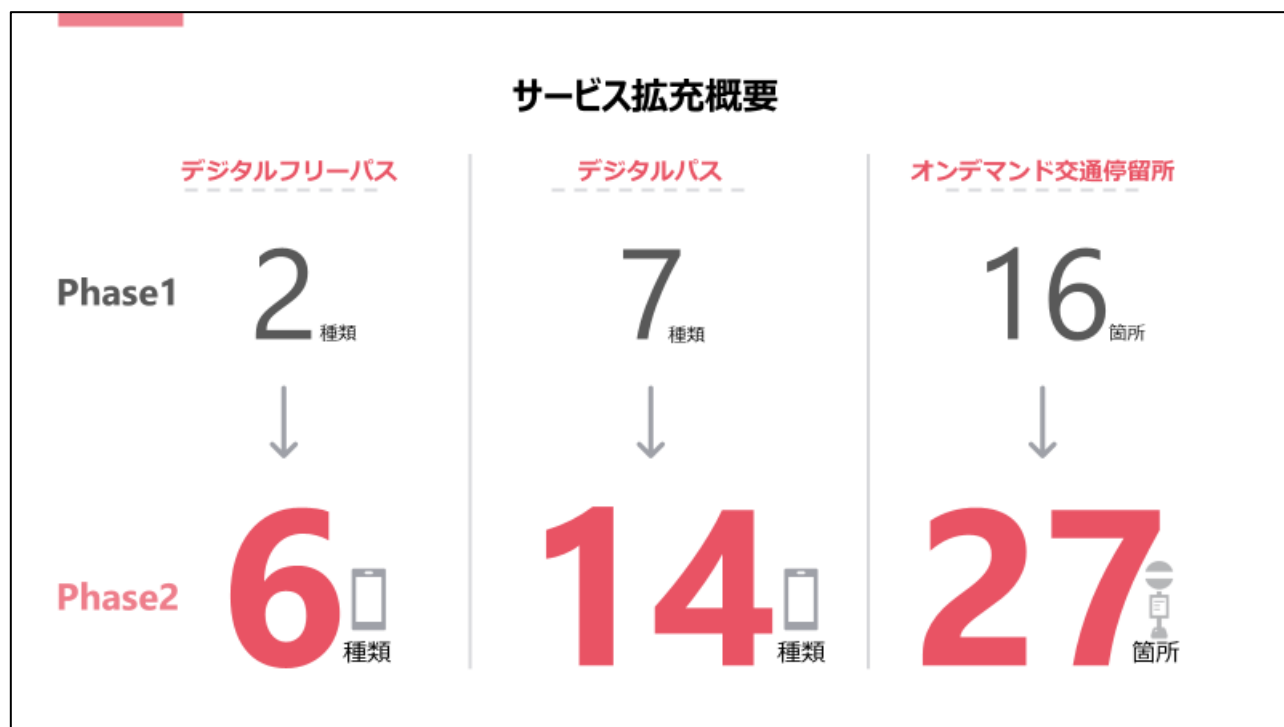
以上



【別添1】UI（ユーザーインターフェース）の改善：アプリからWebブラウザに変更



【別添2】サービス拡充内容：サービス種類、エリアの拡大



【別添3】デジタルフリーパス詳細

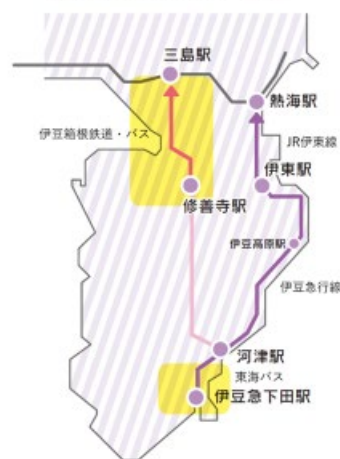
既存の Izuko イースト、Izuko ワイドに加え、気軽な「ちょこっと旅」にも対応する4種類の新たなデジタルフリーパスが登場

伊豆を最大限に楽しめる！

Izuko イースト



Izuko ワイド



— JR 伊東線・伊豆急行線乗り放題エリア

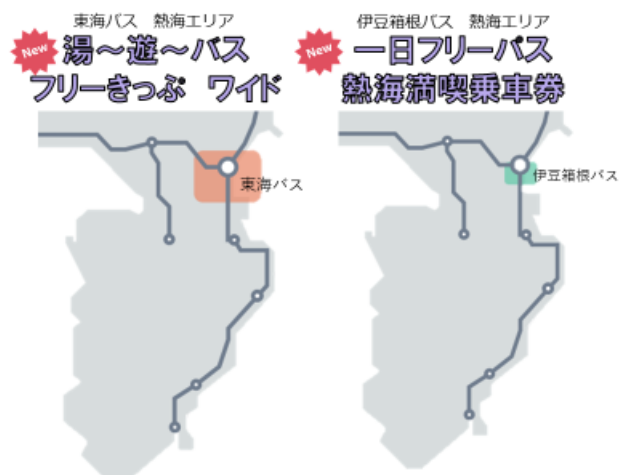
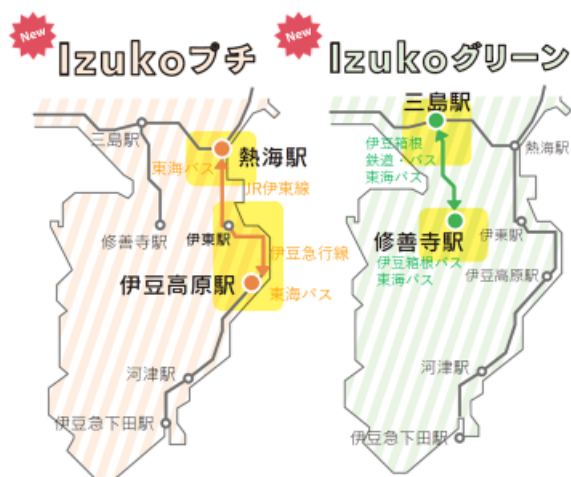
— JR 伊東線・伊豆急行線乗り放題エリア

黄色エリア = 路線バス乗り放題エリア

— 伊豆箱根鉄道駿豆線乗り放題エリア

— 東海バス片道乗車区間

NEW! 気軽な「ちょこっと旅」にも対応



— JR 伊東線・伊豆急行線乗り放題エリア

【有効範囲】

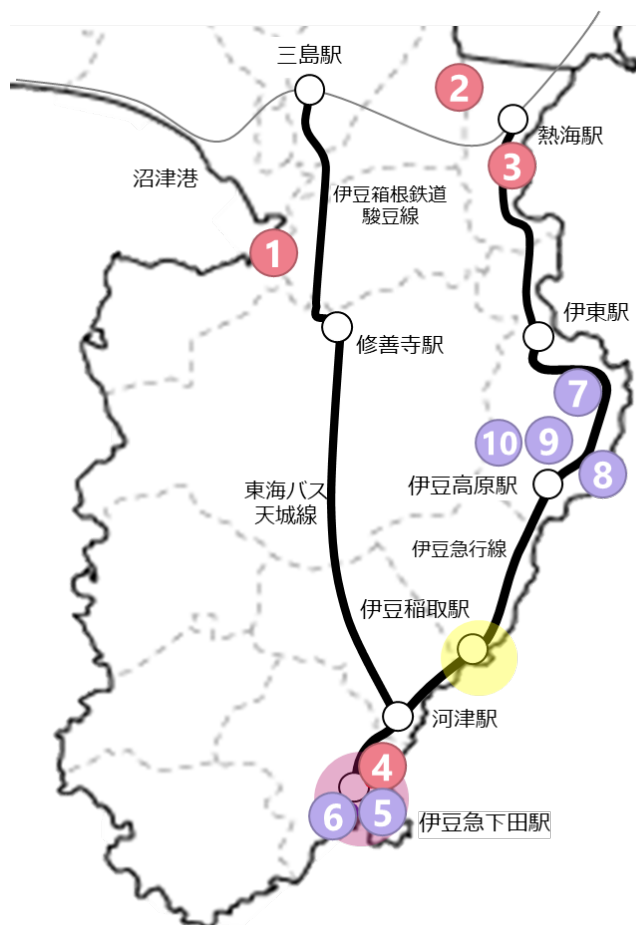
— 伊豆箱根鉄道駿豆線乗り放題エリア

左：湯～遊～バスおよび熱海・湯河原地区の東海バス路線（一部を除く）

黄色エリア = 路線バス乗り放題エリア

右：伊豆箱根バス熱海市内主要路線

【別添4】デジタルパス詳細：熱海エリアなどの観光施設5種類と、交通系2種類が加わり14種類に拡大



三津シーパラダイス			下田港めぐり
十国峠ケーブルカー			下田海中水族館
ローズガーデン (2種)			小室山リフト
寝姿山ロープウェイ			ニューヨーク・ランプ・ミュージアム
下田オンデマンド交通			ぐらんぱる公園 (2種)
稲取循環タクシー (期間限定)			シャボテン公園

【別添 5】 オンデマンド乗合交通詳細

運行エリアの拡大、さらにスマートフォン以外の利用手段として、TV を使った配車システムを試験導入

オンデマンド交通のエリア拡充



主な変更点

- ① 運行エリアの拡大
 - 乗降場所：16カ所(phase1)から**27**カ所へ
 - 観光施設、宿泊施設、行政機関を増設
- ② エリア拡大による有料化
 - **1日乗り放題400円**へ
- ③ 運行時間の延長
 - 10～17時(phase1)から、**9～17時**へ
- ④ TVを使った配車システムの試験導入

超簡単！TVでのオンデマンド交通・配車予約

これまで

スマートフォンの
操作は難しい...



Phase1でみえた
予想以上に厚い「スマホの壁」

地元利用者は全体の1割
下田など地方部でのスマホ保有者の低さ

これから



12月1日から下田市で試験導入
—— スマホがなくても便利な毎日！ ——
外出機会の増加
スマホなしでも新交通を！
バス運行情報など地域情報も発信